

これがしたいカード



☆ 活動における支援・手立て ☆

言葉で自分の気持ちを伝えることが難しい子どもが、写真カードを渡すことで、「〇〇がしたい」、「〇〇へ行きたい」と自分の要求を伝えることができるようにするための支援ツールです。

写真カードは、マジックテープで貼り付けることで、取り外しができます。自分のしたいことを写真カードの中から選んだら、それを外して教師に持って行きます。教師は、始めは、子どもの隣にいますようにしますが、子どもと少しずつ距離を取って、子どもが自分から移動して要求を伝えることができるようになります。

♪ 児童の様子 ♪

写真カードを自分で持ってきたときに、教師が「〇〇がしたいんだね」、「〇〇をしようね」と言葉を掛けると、とてもうれしそうな表情をします。気持ちが伝わった実感があるのでしょうか。何度も写真カードを持ってきて、要求する姿が見られます。子どもが何をしたいのか分かるので、わたしたちもとてもうれしいです。自分のしたいことを写真カードで伝えることができるようになってから、イライラしたり怒ったりすることが減ってきました。